



九州環境エネルギー産業推進機構 九州経済産業局 マレーシア廃棄物管理協会
K-RIP 吉田会長 資源エネルギー環境部 阿由葉部長 WHAM, Mr. Ho De Leong 会長

K-RIP & WMAM のMOU締結式・協議(2017/3/9)

《Contents》	《Page》
I. 環境・グローバル人材育成事業	2
II. 異業種ネットワーク構築事業 ①「エコ塾」	4
II. 異業種ネットワーク構築事業 ②「H28年度環境アグリ・イノベーション交流会 in 宮崎」	11
III. ビジネスマッチング交流会事業	13
IV. ASEAN等環境産業交流事業	17
V. ウルトラファインバブル環境技術・ハンズオン支援事業	23
VI. その他の事業(共催等)	26
VII. H28年度下期 SONEQ事業報告	28

I. 環境・グローバル人材育成事業

海外展開を志向する企業が増えている中、K-RIPでは会員のグローバル人材化を図るため、海外展開に役立つ知識や出張等で使えるビジネス英会話を学ぶ「環境・グローバル人材育成講座」を開設し、延べ3回にわたり実施致しました。

1. 第1回環境・グローバル人材育成講座 with JETRO

【開催日時】平成28年10月7日(金)

【会場】カンファレンスASC

★第一部 16:30～17:30 ミニセミナー

「海外展開のための基礎知識とJETRO海外展開支援サービス・新輸出大国コンソーシアムのご紹介」

【講師】JETRO 福岡貿易情報センター新輸出大国コンシェルジュ・アドバイザー 鍋山 陽一氏

【内容】企業が海外展開（貿易、進出）を検討する際の基礎知識を分かりやすく説明するとともに、海外展開のツールとして、JETROの海外展開支援サービスと、平成27年10月のTPPの合意を契機に中堅、中小企業等の海外展開を一貫して総合的に支援する「新輸出大国コンソーシアム」の説明を併せて行いました。

★第二部 18:00～20:00 K-RIP エイゴ塾

「海外出張時の挨拶等で必要な英会話を学ぶ」

講師：HAKATA 外国語スクール

(外国人講師)

内容：海外出張の際の英語での自己紹介、名刺交換、簡単な会社紹介、英語ができる人へのつなぎ方の表現、空港、ホテルチェックインにおける表現等を学びました。



2. 第2回環境・グローバル人材育成講座

【開催日時】平成28年11月9日(水)

【会場】福岡合同庁舎本館1階九経交流プラザ

★第一部 15:30～17:30 ミニセミナー

「環境・エネルギービジネスの国際展開 その現状と可能性」

【講師】株式会社NTTデータ経営研究所

社会・環境戦略コンサルティングユニット ユニット長 パートナー 村岡元司 氏



【内容】

目覚ましい経済発展を遂げる東南アジア等の新興国では、廃棄物の増加やエネルギーコストの増大等の課題が顕在化しています。廃棄物処理・リサイクル、省エネ・省資源化、再生可能エネルギーの導入、節水や排水処理、汚染地の浄

化など、国内で蓄積してきた技術には海外展開の大きな可能性があります。ただ、可能性を現実に変

えるためには、乗り越えなければならない課題も多くあります。講演では、発展が続く新興国の環境・エネルギービジネスについて、具体事例をもとに、現状と課題、ビジネス展開を図るにあたってのポイント等を分かり易く解説しました。

★第二部 K-RIP エイゴ塾 18:00～20:00

「ビジネス英文メールの書き方、簡単な中国語の挨拶」

【講師】HAKATA 外国語スクール（外国人講師）

【内容】企業間の取引や、依頼、交渉など、ビジネスのメールのやり取りの際に参考となる英語例文、英語表現を学ぶ。サンプルの英文メールもご紹介しました。そのほか、簡単な中国語挨拶の表現等を学びました。



3. 第3回環境・グローバル人材育成講座

【開催日時】平成28年12月1日(木)

【会場】福岡合同庁舎本館1階九経交流プラザ

★第一部：ミニセミナー 16時00分～17時00分

「中小企業のための海外展開プロセスとリスクマネジメント」



【講師】中小企業基盤整備機構 国際化支援アドバイザー 平内 優氏

【内容】中小企業が海外展開を検討する際のプロセスを確認した上で想定される様々なリスクとそれらへの対処法を、ソニー等での自らの経験や中小企業支援の体験談も交えながら、わかりやすく説明しました。

★第二部：K-RIP エイゴ塾 17時30分～19時30分

「ビジネスシーンの電話対応で使える英会話フレーズを学ぶ」

【講師】

HAKATA 外国語スクール(外国人講師)

【内容】

電話でのアポイント取得、契約に係る交渉、担当者不在時・他の担当者につながる時の表現、日本人が間違えやすい表現等、英語でのビジネスにおける電話のやりとりを学びました。



II. 異業種ネットワーク構築事業 ①「エコ塾」

環境ビジネスの創出、新市場開拓、異業種との連携・マッチング等を目的に、企業や研究者による自社製品・技術・サービス・ビジネスモデル等の発表会としてエコ塾を九州経済産業局と連携して定期的に開催しました。交流の場を拡大するために、環境・エネルギー分野に積極的に取り組む自治体と連携した「エコ塾キャラバン」を1月は長崎県にて、2月は佐賀市にて現地視察等を併せて実施することで、環境・エネルギー分野の知見を深める取組を行いました。今回は第101回～105回までの概要を報告致します。

1. 第101回エコ塾 ～エネルギー分野の新たな取り組み～

【開催日時】平成28年11月25日（金）16：00～

【参加人数】講演会87名／交流会41名

【プレゼンテーション】

〔テーマ〕「微細藻類に関する研究開発状況 ～化粧品からバイオ燃料まで～」

〔発表者〕株式会社デンソー 新事業推進部 事業企画担当部長 技師 渥美 欣也 氏

〔概要〕デンソーは2008年より藻からバイオ燃料を作り出す研究をしてきました。扱う2種類の藻は、シュードコリスチスとボトリオコッカスです。これらは活発な光合成によりCO₂を固定しながらオイルを産生します。研究所内での基礎研究、工場の排出CO₂、排水、廃熱を利用した屋外培養システムの開発を経て、2016年7月より天草市立旧五和西中学校跡地に国内最大級の施設を完成させました。ここでは、バイオ燃料だけでなく養殖用餌やヘルスケア商品などの開発にも力をそそぎます

〔テーマ〕「オフィスビルのZEB化への取り組み ～エネフィス九州のご紹介～」

〔発表者〕ダイダン株式会社 技術研究所 基盤技術課 課長 田中 康信 氏

〔概要〕オフィスビルは産業を支える重要な拠点であり、国内にも数多く存在します。オフィス空間における知的生産活動力を高め、かつ、照明や温熱などの環境形成に係るエネルギー消費を抑えることは、持続可能で文化的な社会構築に不可欠です。建築設備により形成する環境影響（快適性）を含めて、オフィスにおける活力ある健全な働きやすさを実現することと、化石燃料の消費を極限まで抑えることを実現することを両立した建物を我々は「スマートエネルギービル」と呼んで、その実現のための研究開発を進めており、実際の建物における実証を行っています。2016年には、中小規模建物におけるZEBの実現を検証するために、ダイダン株式会社九州支社を『エネフィス九州』として新たに建替えました。今回は『エネフィス九州』のコンセプトと導入技術について紹介します。

〔テーマ〕「長崎における海洋再生可能エネルギーへの取り組みについて」

〔発表者〕NPO法人 長崎海洋産業クラスター形成推進協議会 事業コーディネーター松尾 博志 氏

〔概要〕長崎県は、国の指定した海洋再生可能エネルギーの実証フィールドに指定されており、現在、戸田建設を中心に浮体式洋上風力発電の事業化が検討されています。当協議会は、浮体式洋上風力の海域調査を無人、低コストで行う観測タワーの開発を行っています。また、本年度から4ヵ年で、五島奈留瀬戸において2メガワット級の大規模潮流発電の環境省の実証事業が開始され、当協議会もコンソーシアムメンバーとして事業に参画しています。長崎で市場が立ち上がりつつある海洋再生可能エネルギーへの取り組みについて紹介します。

〔テーマ〕「高効率真空管形太陽集熱器による省エネと再エネの複合的効果を目指して」

〔発表者〕富士エネルギー株式会社 営業マネージャー 岐部 貴美子 氏

〔概要〕昨今の日本において、再生可能エネルギー固定価格買取制度による「太陽光発電システム」が急激に普及しつつありますが、福祉施設などの熱重要がある施設の環境負荷低減、温室効果ガス排出量削減を第一に考えますと、再生可能エネルギーの中でも、エネルギー変換効率が比較的高いと言われる「太陽熱利用システムの導入」が有効な選択肢の一つとなりえます。今回、省エネと再エネの複合的効果を目指して弊社にて取り組んだ導入事例をもとに、導入に至った経緯と導入の効果、活用可能な助成制度も含め、「古くて新しい太陽熱利用システムの魅力」を発信できればと思います。

〔テーマ〕「AEM 式水電解装置を活用した用途提案（小型水素ステーションの実証提案）」

〔発表者〕稲畑産業株式会社 情報電子第三本部第一営業部第三営業課 小島 健司 氏

〔概要〕ヘリオセントリス製 AEM(Anion Exchange Membrane)型水電解装置を活用した用途提案です。従来方式と同様の水素発生能力を持ちながらもシステムコストが大幅に安価な AEM 型水電解装置。AEM 型水電解装置の特色を活用した用途提案（小型水素ステーション、ZEH/ZEB）をさせていただきます。



(株)デンソー 渥美 氏



ダイダン(株) 田中 氏



NPO 法人長崎海洋産業クラスター
形成推進協議会 松尾 氏



富士エネルギー(株) 岐部 氏



稲畑産業(株) 小島 氏



講演会 風景



交流会 風景

2. 第 102 回エコ塾 ～地域の課題を解決する環境技術～

【開催日時】平成 28 年 12 月 22 日（木）16：30～

【参加人数】講演会 55 名／交流会 30 名

〔速報〕一次産業における地域の課題調査結果報告

〔発表者〕環境テクノス株式会社 コンサルタント事業部 松田 晋太郎 氏

【プレゼンテーション】

〔テーマ〕「水流発生装置を用いた養殖場環境改善事例紹介と閉鎖性水域の水質改善技術について」

〔発表者〕エビスマリン株式会社 取締役事業統括本部長 中野 浩康 氏

〔概要〕水流発生装置を用いた車エビ養殖場の低質改善など、当社の実績事例の紹介と、その技術概要につき発表させていただきます。また河川・湖沼のアオコ問題に取り組んだ事例も併せて、技術概要と共に発表させていただきます。

〔テーマ〕「青果物の長期鮮度保持による国内輸送および海外輸送におけるロス率の低減」

〔発表者〕株式会社炭化 代表取締役社長 入江 康雄 氏

〔概要〕未利用の資源から新たに開発した鮮度保持剤と光触媒による青果物の長期鮮度保持システムです。このシステムは特に海外輸送や長期保存において大量に安く確実に鮮度を確保することでロス率の低減が可能となりました。

〔テーマ〕「資源循環型農業の取組 ～食品リサイクルループの構築～」

〔発表者〕セブンフーズ株式会社 取締役本部長 田嶋 一博 氏

〔概要〕セブンフーズ(株)は養豚事業を通じて様々な取組を行っています。資源循環型農業も一つのテーマです。食品廃棄物を、家畜の飼料や有機肥料に再資源化し、自社の飼育豚に給餌したり、耕作地の生産を行っています。資産物を、食品工場で利用するリサイクルループを構築しております。

〔テーマ〕「太陽光エネルギーを利用した獣害対策技術の紹介」

〔発表者〕株式会社末松電子製作所 代表取締役社長 末松 謙一 氏

〔概要〕中山間地の農業者にとってイノシシやシカ等の獣害対策は重大な問題です。当社ではその対策器材の一つである電気柵の専門メーカーとして 40 年以上携わってきました。お客様の要望に沿って、改良、改善を進めてきた電気柵「ゲッターシステム」では、乾電池やバッテリー、ソーラーを使用した電源をもとに、パルス状の高電圧を発生し、田畑への動物の侵入を防ぎます。近年では農作物被害にとどまらず、人的被害や森林環境への影響も叫ばれています。被害の現状、電気柵によるその対策の仕組み、当社の今後の取り組み等について紹介します。



環境テクノス(株) 松田 氏



エビスマリン(株) 中野 氏



(株)炭化 入江 氏



セブンフーズ(株)田嶋氏



(株)末松電子製作所未松氏



講演会 風景

3. 第 103 回エコ塾 in 長崎

自然環境と調和した環境・エネルギービジネスの取組紹介 ～水とバイオマス～

【開催日時】平成 29 年 1 月 18 日（水）14：00～

【参加人数】講演会：79 名／交流会：46 名

【基調講演】

〔テーマ〕「農産廃棄物のカスケード利用による地域資源循環システムについて」

〔発表者〕農研機構 九州沖縄農業研究センター 畜産草地研究領域 主席研究員 田中章浩 氏

〔概要〕堆肥化、メタン発酵及びバイオマスの燃焼利用等を核とし、家畜排せつ物や汚泥等を肥料やエネルギーとして有効利用しながら作物や飼料生産による所得増・地域活性化を図る地域資源利活用システムの研究を行っています。これまでに、地域未利用バイオマスを利活用した高品質堆肥生産及び脱臭技術、副資材が不足している地域においてメタン発酵を導入するため消化液の効率的散布システムや汚泥発酵肥料や消化液を利用した減化学肥料による資源作物栽培方法に関する研究を行ってきました。また、木質や汚泥等の熱エネルギー化に関する研究についても、ご紹介します。

【プレゼンテーション】

〔テーマ〕「木質 バイオマスボイラーの活用事例について」

〔発表者〕株式会社三基 エネルギー事業部 執行役員部長 高田 勝秀 氏

〔概要〕(1) バイオマスボイラーの特徴 メリット、デメリット他
 (2) バイオマスボイラーの活用事例 椎茸生産場、温浴施設、農業施設等
 (3) バイオマスボイラー利用による地域循環型社会の形成

〔テーマ〕「土着菌を活用した特殊酵素による高濃度有機排水処理システムの提案」

〔発表者〕株式会社ジェー・フィルズ 佐賀営業所長 青木 正成 氏

〔概要〕CMシステム（酵素活性化法）は、特殊な酵素の化学変化と、酵素の環境下で産み出された微生物群の能力を最大限引き出すノウハウとそれに伴う設備の開発により、想像をはるかに超えた排水処理を実現します。余剰汚泥の大幅な削減が可能で、焼却処分による二酸化炭素の排出削減など、環境に対する負荷を抑えるとともに、電気代や薬品代などのランニングコストの大幅な削減が可能となります。自然環境にとってやさしい排水処理の新技术を提案します。

〔テーマ〕「宮城県南三陸町における「地域独立分散型エネルギー供給システム」の取組について」

〔発表者〕アマタホールディングス株式会社 上級戦略責任者 唐鎌 真一 氏

〔概要〕アマタグループは東日本大震災の津波で、すべての公共インフラを消失した宮城県南三陸町の復旧と復興を支援しています。5年前に住民の尊厳と地域の絆を再構築する

街づくりを、町長に提案しました。どうせ新しい街を作るなら、自らの為に、自らの手でエネルギーを作り、安心して安全な街を作りたいと言う町長の想いを形にする提案です。森、里、海、町をつなぐ循環型エネルギー供給システムの構築が私たちの目指す新しい地域の街創りです。その第一歩として、有機系廃棄物からガスや電気を作る取組をご説明したいと思います。

〔テーマ〕「閉鎖性水域水質改善の方策と水質改善装置「子水神」の紹介」

〔発表者〕株式会社 エコ・プラン 代表取締役 原 純貴 氏

〔概要〕ダム、湖沼、内湾などの閉鎖性水域では、近年富栄養化に伴う植物性プランクトンの大量発生により海域では、「赤潮」や「青潮」の発生による大量の魚類の斃死、また、淡水域では「アオコ」の発生による臭気や景観上の問題等が数多く報告されています。また、「アオコ」が大量に発生するとその毒素による人体への影響が懸念されており、利水面でも大きな問題となっています。このように閉鎖性水域の水質改善は、非常に重要な課題です。ここでは、1方策として水質改善装置「子水神」を紹介します。



農研機構 九州沖縄農研センター 田中 氏



(株)三基 高田 氏



(株)ジェー・フィルズ青木氏



アマタホールディングス(株) 唐鎌



(株)エコ・プラン 原 氏

【開催日時】平成 29 年 1 月 19 日 (木)

バス見学： 9:00 長崎駅集合－ 12:00 昼食(小浜にて)－ 15:30 諫早駅解散

【見学先】



農事組合法人サンエスファーム しいたけ工場見学(バイオマスボイラー導入)



株式会社クリーン雲仙 木質チップ燃料工場見学



小浜温泉バイナリー発電所 発電所見学

4. 第 104 回エコ塾 未来へつなぐ環境ビジネス～バイオマス、リサイクル、エネルギー～

【開催日時】平成 29 年 2 月 9 日（木）14：30～

【参加人数】講演会 65 名／交流会 28 名

【主催挨拶】

【佐賀市エコプラザの紹介】



佐賀市 森 氏



佐賀市 羽立 氏

【基調講演】

〔発表者〕株式会社ユーグレナ 取締役 研究開発部長 鈴木 健吾 氏

【プレゼンテーション】

〔テーマ〕「ファインバブル事業への取り組み紹介」

〔発表者〕株式会社ワイビーエム ファインバブル事業開発部 主事 田中 ひとみ 氏

〔概要〕ファインバブルは日本発の革新的技術で、様々な特徴を持っています。その特異的な性質を生かして、洗浄、水産、植物育成等、幅広い分野での応用が研究されており、近年大変注目を集めています。今回のプレゼンテーションでは、当社のファインバブル事業への取り組みについて紹介します。

〔テーマ〕「ハニカムロータを用いた二酸化炭素分離回収技術」

〔発表者〕株式会社西部技研 技術開発本部 開発部 吉田 和行 氏

〔概要〕弊社ではコア技術であるハニカムロータを活かして、これまで全熱交換機や除湿機、VOC 処理装置を取り扱ってきました。今回その技術を応用し、地球温暖化の原因と考えられている二酸化炭素（CO₂）を分離回収する装置（C-SAVE）を新規開発しました。発電所やごみ焼却場から排出される排ガス（CO₂ 濃度 10%程度）を C-SAVE に取り込むことで、CO₂ を分離して、中～高濃度に濃縮します。濃縮された CO₂ は藻類培養、農業分野、CCS 等に利用され、CO₂ の削減へとつながります。また、大気から直接 CO₂ を濃縮する装置の開発も行っており、これらの新規開発技術についてご紹介します。

〔テーマ〕「植物系バイオマスからの有用物質抽出と商品化」について」

〔発表者〕株式会社ミゾタ 環境技術研究所 理事・所長 土井 研一 氏

〔概要〕加圧熱水処理装置の開発から有用物質抽出の過程を紹介します。材料は無農薬にこだわり、水溶性抽出物のビジネスを構築した「健康食品・化粧品」の商品化を説明します。



(株)ユーグレナ 鈴木 氏



(株)ワイビーエム田中氏



(株)西部技研 吉田 氏



(株)ミゾタ 土井 氏



講演会風景



交流会風景

【開催日時】平成 29 年 2 月 10 日 (金)

バス見学： 9:00 佐賀駅発－ 12:20 昼食－ 15:00 佐賀駅着解散

【見学先】



佐賀市清掃工場、CO2 分離回収装置・アルビータ培養施設等



佐賀市下水浄化センター (ガス発電、藻類培養(ユーグレナ)、堆肥化施設)

5. 第 105 回エコ塾 ～平成 28 年度 K-RIP 支援メニュー活用事例と成果報告～

【開催日時】平成 29 年 3 月 14 日 (金) 15 : 30～

【参加人数】講演会 64 名／交流会 44 名

【プレゼンテーション】

〔発表者〕株式会社西部技研 技術開発本部開発部 吉田 和行 氏

〔事 例〕エコテクノ、広域連携、エコ塾

〔発表者〕グリーンリバーホールディングス株式会社 代表取締役 長瀬 勝義 氏

〔事 例〕アグロイノベーション、研究会

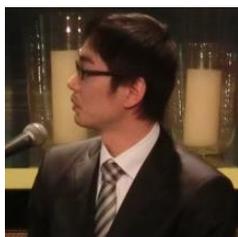
〔発表者〕ワイズグローバルビジョン株式会社 代表取締役社長 柳瀬 良奎 氏

〔事 例〕びわ湖環境ビジネスメッセ、広域連携、専門家派遣

〔発表者〕丸和バイオケミカル株式会社 H&G 事業部 営業部 部長補佐 加藤 道哉 氏

〔事 例〕エコテクノ、広域連携、K-RIP プロジェクト、海外展開

(株)西部技研吉田氏 グリーンリバーホールディングス(株)長瀬氏 ワイズグローバルビジョン(株)柳瀬氏 丸和バイオケミカル(株)加藤氏



Ⅱ. 異業種ネットワーク構築事業

②「H28年度環境アグリ・イノベーション交流会 in 宮崎」

南九州でポテンシャルの高い一次産業の更なる活性化のため、今年度実施した南九州地域の課題調査結果を踏まえ、解決につながりうる技術を持った企業によるセミナーを開催しました。併せて経済産業省と農林水産省の平成29年度予算案における施策紹介についてもご紹介しました。

【開催日時】平成29年2月2日(木)講演会：14:00～17:30

プレゼン企業業製品等展示会：17:30～17:50

【開催場所】宮崎観光ホテル 東館3階『緋耀(ひょう)の間』

【参加人数】講演会：58名 懇親会：21名

＜主催者代表挨拶＞九州経済産業局 資源エネルギー環境部 資源エネルギー環境課 課長 小野 基海 氏

＜開催地代表挨拶＞宮崎県 商工観光労働部 産業振興課 課長 野間 純利 氏

＜第一部＞

「経済産業省・農林水産省平成29年度予算案における施策紹介」

九州経済産業局 資源エネルギー環境課 係長 鶴丸 貴信 氏

九州農政局 生産部 生産技術環境課 農政調整官 斉藤 秀美 氏

＜第二部＞

〔調査報告〕一次産業分野における環境課題に関する調査結果概要（南九州版）

環境テクノス株式会社 コンサルタント事業部 課長 松田 晋太郎 氏

〔事例1〕「ファインバブルの一次産業、環境への適用事例紹介」

〔発表者〕株式会社ワイビーエム 技術担当取締役 増本 輝男 氏

〔事例2〕「竹短繊維と自然土を肥料成分で固める 環境型の雑草抑制・簡易舗装工法」

〔発表者〕日本乾溜工業株式会社 営業統括部 部長代理 浜嶋 博昭 氏

〔事例3〕「畜産現場における悪臭とハエの発生状況とその対策」

〔発表者〕株式会社ヤサキ 代表取締役 八崎 秀則 氏

〔事例4〕「畜舎屋根への遮熱塗装で畜舎内の温熱環境を改善」

〔発表者〕株式会社宮防 新規事業部長 荻原 英範 氏

【主催者代表挨拶】

九州経済産業局 小野 氏

【開催地代表挨拶】

宮崎県 野間 氏

＜第一部＞

九州経済産業局 鶴丸 氏



九州農政局 斉藤 氏



環境テクノス(株) 松田 氏



(株)ワイビーエム 増本 氏



日本乾溜工業(株) 浜嶋 氏



(株)ヤサキ代表取締役 八崎氏



(株)宮防 荻原 氏



<第二部>★プレゼン企業製品等展示会★

<株式会社ワイビーエム>



<日本乾溜工業株式会社>



<株式会社ヤサキ>



<株式会社宮防>



Ⅲ. ビジネスマッチング交流会事業

① 展示会出展支援

1. 北九州市「エコテクノ 2016」

K-RIP では昨年度に引き続き、10月12日からの三日間、西日本総合展示場新館で開催される「エコテクノ 2016」へ出展致しました。

出展に際して、K-RIP 会員企業を対象に出展を公募した結果、K-RIP ブースにて下記 6 社の出展支援を実施しました。

【開催日時】平成 28 年 10 月 12 日(水)10 時開場 ～14 日(金) 3 日間

【会 場】西日本総合展示場新館 (北九州市小倉北区浅野 3-8-1)

【出展支援企業】

(株)ウィン&ウィン(長崎) (株)西部技研 (福岡県) 東京産業(株)西日本支店 (東京都)

LED 照明の自主開発サポート 高濃度かつ安全な CO2 分離回収技術 薬剤不使用になる遠心分離式の浄水装置



丸和ハイケミカル(株)(東京都)

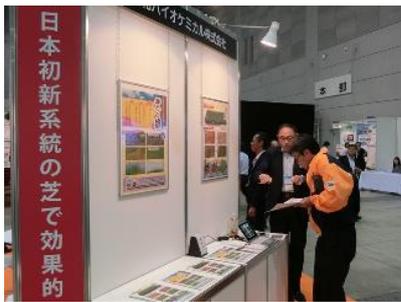
美ら芝(国産新品種の芝)での緑化事業

(株)多摩川九州 (福岡県)

太陽光と風力のハイブリット LED 発電

(株)高和 (福岡県)

おがくずを用いた木質系猫砂ペレット等



■ K-RIP ブース



2. びわ湖環境ビジネスメッセ 2016

K-RIP では昨年引き続き、西日本最大級の環境産業展示会「びわ湖環境ビジネスメッセ 2016」に出展致しました。出展に際して、K-RIP 会員企業を対象に出展支援を公募した結果、K-RIP ブースにて下記3社が出展し、10月21日は出展企業によるプレゼンテーションも行いました。

【開催日程】 2016年10月19日(水)～10月21日(金) 10:00～17:00(最終日は16:00まで)

【開催場所】 滋賀県長浜市 長浜バイオ大学ドーム

【出展支援企業】

■ ワイズグローバルビジョン株式会社 (沖縄県)

世界最小級の海水淡水化装置の開発



プレゼンテーション会場

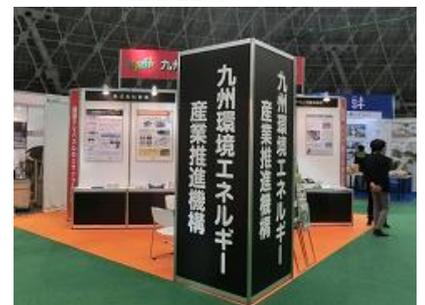


■ 日建エンジニアリング株式会社 (福岡県)

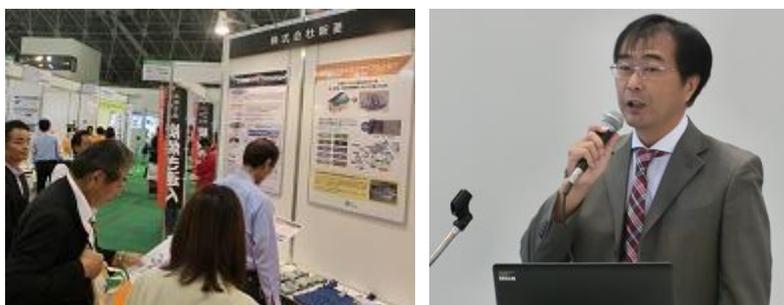
省エネ・省スペース・長寿命化に貢献する3次元シームレスパイプ曲げ加工技術



K-RIP ブース



■ 株式会社新菱 (福岡県) 太陽光発電システムのリサイクル事業



3. 東京アグロ・イノベーション 2016

K-RIP では、12月14日から三日間、東京ビッグサイトにて開催される農業生産と流通技術等の専門展示会「アグロイノベーション 2016」に出展しました。出展に際して、K-RIP 会員企業を対象に出展支援を公募した結果、K-RIP ブース内にて下記3社を出展支援致しました。

【開催日時】 2016年12月14日(水)～12月16日(金) 10:00～17:00

【開催場所】 東京ビッグサイト (西展示棟)

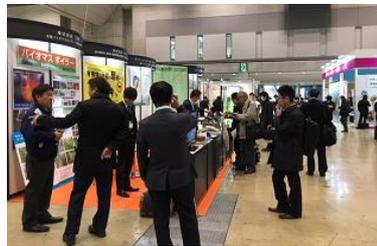
【出展支援企業 (企業名及び出展内容)】

*株式会社三基 (長崎県) サンサンファーム (SANSANFARM)

*株式会社ヤサキ (広島県) 畜産用「菌の黒汁」とそれを活用した新しい牧畜システム。

*グリーンリバーホールディングス(株) (福岡県) エネルギー自家消費型循環栽培システム(縦型)

<会場風景>



②環境ビジネスアライアンスマッチングセミナー

1. in 九州

各地域で環境ビジネスを展開する中小企業等が、「製品・サービス等の開発」・「技術開発」・「販売網開拓」等において相互に連携し合うことにより、新たな事業の創出・展開を図ることを目的とし、各地の経済産業局と推進機関等で構成された運営協議会により推進しております。

この一環として、九州地域では、北九州市で開催される環境ビジネス見本市「エコテクノ 2016」にあわせ、10月13日(木)に「環境ビジネスアライアンスマッチングセミナーin九州」を開催致しました。会場には、九州域内企業と環境分野で連携を希望する全国各地の企業が、自社事業(商品・技術・システム等)のプレゼンテーションほか、隣接する会場にて小規模展示と商談会を実施致し、商談会では各地域のコーディネーターがマッチングのサポートを行いました。

【開催日時】 平成28年10月13日(木) 企業プレゼン: 13時～ 商談: 13時10分～

【会場】 エコテクノ 2016 会場内

【プレゼン企業】 9社 (近畿2社、関東1社、中部2社、沖縄1社、中国3社)

【商談件数】 39件

東洋スクリーン工業(株)(奈良)



(株)マーベリックコーポレーション(福井)



サイエンス(株)(埼玉)



(株)みつわホップ製作所(三重)



豊田化学工業(株)(愛知)



(株)スマートエナジー(沖縄)



(株)リライフ(山口)



(株)ジオパワーシステム(山口)



周南水処理(株)(山口)



商談風景



2. in 中部

【開催日時】平成28年10月26日(水) 企業プレゼン: 13時～

【会場】名古屋市国際展示場ポートメッセなごやイベント館2階 特設会場

【プレゼン企業】日建エンジニアリング株式会社 株式会社西部技研

【商談件数】7件

3. in 沖縄

【開催日時】平成28年12月13日(火)13:00～16:30

【会場】沖縄セルラーパーク那覇 ※第7回オキナワベンチャーマーケット会場内

【プレゼン企業】丸和バイオケミカル株式会社 株式会社西部技研

【商談件数】7件

4. in 川崎

【開催日時】平成29年2月16日(木)13:30～16:00

【会場】川崎国際環境技術展2017会場内

【プレゼン企業】(一社)太陽光発電アフターメンテナンス協会、株式会社多摩川九州

【商談件数】6件

5. in 京都

【開催日時】平成29年3月2日(木)10:00～16:30

【会場】京都パルスプラザ 5階会議室

【プレゼン企業】株式会社多摩川九州 テス・エンジニアリング株式会社

【商談件数】13件

IV. ASEAN 等環境産業交流事業

①海外視察団の受入等による海外に向けた技術力発信強化

1. マレーシア環境ミッション団受入

九州経済産業局及びK-RIPでは、環境問題への対応が急務となっているASEAN地域をターゲットとした企業の海外展開支援や現地の課題に対応した環境プロジェクト組成、海外ビジネスマッチングなどの取組を行っております。

その一環として、平成29年3月7日(火)～9日(木)に、マレーシア廃棄物管理協会、管理協会の会員企業、及びマレーシア地方自治協議会の関係者25名が九州を訪問し、九州の環境関連施設、リサイクル事業者、下水処理事業者の企業視察等を実施しました。

マレーシア環境ミッション団 (マレーシア廃棄物管理協会・WMAM)

平成29年3月7日(火) 午後 来日、オリエンテーション (九経交流プラザ)
 3月8日(水) 終日 水俣市一環境関連施設の視察、及び企業訪問
 3月9日(木) 午前 福岡市ゴミ焼却施設 視察
 午後 会員企業によるプレゼン、マッチング会 (九州経済産業局)
 午後 マレーシア環境ミッション団との交流会 (九州産業技術センター会議室3F)

水俣病資料館視察



分別ステーション視察(市民活動)



(株)アル・ビー・エス(下水処理事業)視察



福岡市ゴミ処理施設視察



田中商店(株)視察(ビソ・廃棄物リサイクル事業)



九州経済産業局幹部表敬



○九州企業プレゼン・マッチング会 (九州経済産業局)

トータル・ケア・システム(株)(紙おむつリサイクル事業) (株)サム(プラスチック選別機事業) (株)システムJD(PVモテ機器事業)



協和機電工業 (株)



(株)ワイビーエム



K-RIP・WMAMのMOU締結式



②ASEAN 等環境プロジェクト調査チーム・ミッション団派遣

1. マレーシヤミッション団派遣

近年、ASEAN 地域は力強く発展しており、急速な工業化・都市化が進む中で、廃棄物処理や環境汚染問題への対策が急務となっており、法規制等の整備や公害防止技術の研究・開発などに取り組んでいます。

こうした中、九州経済産業局と九州環境エネルギー産業推進機構は、平成 24 年度から環境意識が高まるマレーシヤと環境産業交流を行っており、平成 28 年 11 月末に、マレーシヤへ環境プロジェクトミッション団を派遣しました。

1. 件名：マレーシヤミッション団派遣
2. 訪問先：マレーシヤ（ジョホール州・クアラルンプール）※シンガポール経由
3. 日程：平成 28 年 11 月 28 日（月）～12 月 3 日（土）
4. 参加者：
 - 九州経済産業局 資源エネルギー環境部 資源エネルギー環境課 竹内参事官
 - 九州環境エネルギー産業推進機構 吉田会長、嶋田統括マネージャー、池田部長
 - 現地コーディネーター（K-RIP ASEAN コミュニケーター）リム・ウィーイー氏
 - 会員企業 （株）ワイビーエム、 協和機電工業(株)、
積水化学工業（株）、東京産業(株)
5. 調査内容
 - 環境プロジェクト組成のための現地関係機関とのネットワーク構築
 - マレーシヤ イスカンダル計画に関する現地調査・現況把握
6. スケジュール

日程	用務	都市名
11/28(月)	※移動(福岡→シンガポール) ※移動(陸路にてマレーシヤ ジョホール州へ)	ジョホールバル市
11/29(火)	◇イスカンダルマレーシヤ商工会議所 サリコン会長訪問 【イスカンダル計画に関するヒアリング】 ・イスカンダル・マレーシヤ地域開発庁(IRDA) ・JOHOR PETROLEUM DEVELOPMENT CORPORATION(石化会社) ◇ジョホールバル市訪問 ◇マレーシヤ通産省(MITI)&マレーシヤ投資開発庁 ジョホール事務所訪問 ◇フォレストシティ計画 視察	ジョホールバル市
11/30(水)	◇パシルグダン市(Pasir Gudang)訪問 ◇ジョホール州秘書 イスマイル氏 表敬訪問 ◇J Biotech 訪問及び商談会	ジョホールバル市
12/1(木)	※移動(ジョホールバル→クアラルンプール) ◇マレーシヤ廃棄物管理協会 訪問	クアラルンプール
12/2(金)	◇日本大使館 訪問 ◇マレーシヤ投資開発庁 訪問 ※移動(クアラルンプール→福岡) 3日午前福岡着	クアラルンプール

◆イスカンダル計画ヒアリング



サリコン氏(中)、マムド氏(右)

◆ジョホールバル市長への表敬



◆MITI&MIDA ジョホール州事務所訪問



◆パシルグダン市長表敬



◆ジョホール州政府への表敬



◆J Biotech 訪問及び商談会



◆マレーシア廃棄物管理協会(WMAM)との協議



◆マレーシア投資開発庁(MIDA)訪問



2. 台湾環境エネルギービジネスミッション

【開催日時】平成29年2月13日(月)～2月17日(金)

【開催場所】台湾(台北市、高雄市)

【参加者】合計15名

【参加企業】

《エネルギー》①(株)システム・ジェイディー伊達社長、②(株)石橋製作所 安永室長

《リサイクル》③(株)サイムコーポレーション 土田氏

④(株)環境緑化保全コンサルタント(EGCC) 榎木常務

《水質浄化》⑤協和機電工業(株) 中ノ瀬専務 ⑥清本キニー(株) 日吉部長

《知財》⑦加藤合同国際特許事務所 南瀬弁理士

《事務局》九州経済産業局 資源エネルギー環境部 環境・エネルギー担当 竹内参事官

九州環境エネルギー産業推進機構(K-RIP)村上事務局長、嶋田統括マネージャー

◆台北商談会(TJPO 台日産業連携推進オフィス) プレゼン6社



◆AMIA CO.,LTD

◆台湾資源再生協会:プレゼン6社

◆高雄市政府経済発展局:プレゼン6社



◆中鋼集团訪問

◆商談会@高雄國際會議中心 ICCK: プレゼン7社



3.K-RIP ベトナム環境プロジェクトミッション

1. 件名：ベトナム環境プロジェクトミッション（九州環境エネルギー分野のアジア展開）
2. 訪問先：ベトナム（ホーチミン市、バリアブントウ省他）
3. 日程：平成29年2月26日(日)～3月3日(金)
4. 参加者：（7社、計15名）
 - 協和機電工業(株) 海外営業部 東南アジア代表（グループ長） 小林 将也 氏
 - 東京産業(株)シンガポール所長 藤田 訓彰 氏 ケミカルエンジニアリング第2部課長 池田 正則 氏
 - (株)環境緑化保全コンサルタント 常務取締役 榎木 真一 氏
 - 丸和バイオケミカル株式会社 副部長 加藤 道哉 氏、課長 香取 照男 氏
 - (株)福山コンサルタント 新規事業推進室 高井 洋志 氏
 - (株)くしまアオイファーム海外事業部 部長 奈良迫 洋介 氏
 - SHIROGANE LOGISTICS VIETNAM CO 部長 田中 洋和 氏 マネージャー フン 氏
 - 九州経済産業局 資源エネルギー環境部 部長 阿由葉 信一 氏、係長 鶴丸 貴信 氏
 - 九州環境エネルギー産業推進機構 統括マネージャー 嶋田 駿一 氏
 - コーディネーター兼通訳 クイ 氏 ○通訳 チャン 氏

日程	主な内容
2/26(日)	移動日（福岡市→成田空港→ホーチミン市）
2/27(月)	<p>①<u>JETRO ホーチミン事務所</u> ベトナムの経済情勢、ビジネス環境、環境分野ビジネス展開に関する意見交換</p> <p>②<u>サイゴン農業合弁会社（サグリ社）…国営農業法人</u> サグリ社企業概要説明、同行企業（丸和バイオケミカル、くしまアオイファーム、福山コンサルタント、環境緑化保全コンサルタント）プレゼン及び意見交換</p> <p>③<u>ビンコ社…農薬・農業資材商社</u> ビンコ社概要説明、同行企業プレゼン（丸和バイオケミカル、くしまアオイファーム、福山コンサルタント、環境緑化保全コンサルタント）及び意見交換</p>
2/28(火)	<p>①<u>ベトナム商工会議所ホーチミン支部</u> 同行企業プレゼン（環境緑化保全コンサルタント、東京産業）、今後の相互協力等に関する協議</p> <p>②<u>トウドック住宅開発コーポレーション…不動産デベロッパー</u> 同行企業プレゼン（東京産業、協和機電工業、環境緑化保全コンサルタント）及び意見交換</p> <p>③<u>ベトナム環境機械…廃棄物処理業</u> 同行企業プレゼン（協和機電工業、環境緑化保全コンサルタント）及び意見交換</p> <p>④<u>ホアビン建設…大手建設会社</u> 同行企業プレゼン（東京産業、協和機電工業、環境緑化保全コンサルタント）及び意見交換</p>



<p>3/1(水)</p>	<p>ホーチミン市→バリアブントウ省 ①バリアブントウ省内開発状況視察及び意見交換 (発電施設、カイメップチャーバイ港、フーミーⅢ工業団地等)</p>	
<p>3/2(木)</p>	<p>①バリアブントウ省人民委員会 (省行政府) 九州局及び K-RIP の取り組み紹介、相互交流に関する協議 ②バリアブントウ省内視察 (コンダオ海産貿易社 (海産品加工)、畜産農場)</p>	
<p>3/3(金)</p>	<p>①丸和バイオケミカル タイベック現地実証見学・発表会</p>	

丸和バイオケミカル現地実証見学会

目的：遮熱効果等を有する「タイベック」の洋ラン栽培及び牛の飼育に対する実証効果を検証し、現地関係者への PR を行う。

参加者：ホーチミン市政府関係者、植物栽培事業者等 約 40 名

開催場所：アンダオ社 (洋ラン栽培事業者／タイベック実証パートナー)



V. ウルトラファインバブル環境技術 -ハンズオン支援事業

近年、注目を集めている日本初の革新的な技術であるファインバブルは、農業・水産業での活用をはじめ、製造分野、洗浄、食品、化粧品、医療・薬品、水質浄化など幅広い産業分野で応用技術の開発が進み始めています。また現在、ファインバブルの国際標準化について国とファインバブル産業会（FBIA）が一体となって、力強く推進しているところです。様々な産業分野で注目を集めるファインバブル技術の新規事業創出への可能性を追求しました。

1. 産学官連携技術交流会ファインバブルセミナー

【開催日時】平成 28 年 10 月 13 日（木曜日） 14 時 00 分-17 時 30 分

【会場】唐津ロイヤルホテル 2 階ロイヤルホール（佐賀県唐津市東唐津 4 丁目 9-20）

【主催】ファインバブル地方創生協議会－佐賀県（平成 28 年度の議長県）

九州経済産業局（ファインバブル地方創生協議会協力機関）

（一社）ファインバブル産業会（FBIA）（ファインバブル地方創生協議会事務局）

【共催】唐津市、（公財）佐賀県地域産業支援センター、（国法）産業技術総合研究所、

九州環境エネルギー産業推進機構（K-RIP）

講演①「ファインバブル技術 ～ 概要、産総研の取組 ～」

（国法）産業技術総合研究所 イノベーション推進本部 上席コーディネーター 綾 信博 氏

講演②「食品排水処理におけるウルトラファインバブル処理による汚泥の減容化と微生物の動態」

佐賀大学 農学部 生物環境科学科 資源循環生物学分野 教授 染谷 孝 氏

講演③「ファインバブル事業への取り組み」

株式会社ワイビーエム ファインバブル事業開発部 主事 吉原 謙司 氏

講演④「ウルトラファインバブルの界面特性と高分子スキャフォールドへの展開」

九州大学 大学院工学研究院 応用化学部門 教授 田中 敬二 氏

講演⑤「ファインバブルに関する戸上電機の取り組み」

株式会社戸上電機製作所 技術本部 研究開発部 主任研究員 西津 章郎 氏

講演⑥「高知県におけるファインバブルを用いた一次産業振興の取り組み」

高知工業高等専門学校・ソーシャルデザイン工学科 准教授 秦 隆志 氏

2. 平成 28 年度第 2 回ファインバブル地方創生協議会

平成 28 年 10 月 14 日（金）

○ファインバブル地方創生協議会

時間：9 時～10 時 30 分 場所：唐津ロイヤルホテル 9 階萩の間

○株式会社ワイビーエム見学

時間：11 時～12 時 場所：ワイビーエム岸山工場

3. 平成 28 年度第 2 回ファインバブル環境技術研究会

（1）開催目的

㈱ワイビーエムの新事業であるファインバブル技術を核としたプロジェクトを組成し、新事業進出のコンセプト作り、開発時の産学連携、事業パートナー探し、販路開拓などを一貫して支援することで同社の新分野展開をサポートし、地域への波及効果による経済活性

化につなげる。平成28年度第2回目はファインバブルに関する社内の取組体制を強化し、事業戦略を明確化するため、専門家を派遣し意見交換を行う。

(2) 【開催日時】平成29年1月24日(火) 12:45~15:45

(3) 開催場所(株)ワイビーエム岸山工場(佐賀県唐津市北波多岸山589-10)

(4) 研究会参加者

<専門家>

- ・古賀マネジメント総研(株) 代表取締役 古賀 光雄 氏
- ・(一財)九州産業技術センターHAMIQプロジェクトマネージャー 大塚 雅則 氏

<自治体> 佐賀県

<事務局> 九州環境エネルギー産業推進機構(K-RIP)、九州経済産業局

(5) 議題

時間		内容
12:45	12:50	研究会の趣旨説明(5分)九州環境エネルギー産業推進機構(K-RIP)
12:50	13:05	ファインバブルの活用事例と導入可能性(15分) 九州経済産業局 資源エネルギー環境部 環境・エネルギー産業担当参事官 竹内一雄 氏
13:05	14:05	(株)ワイビーエムプレゼン(60分) 進捗状況、現状の整理、課題、販売戦略について、デモ機運転
14:05	15:45	専門家によるヒアリング、フリーディスカッション(100分)

4. Inter-Aqua2017 第8回国際水ソリューション総合展

ファインバブル技術の発信を目的に、国内外からの水ビジネス関係者の来場が見込める「インターアクア2017」に出展しました。

【開催日時】平成29年2月15日(水)~2月17日(金)10:00~17:00

【会場】東京ビッグサイト展示場東1ホール

【出展支援企業】株式会社ワイビーエム



5. H28 年度第 2 回九州・沖縄ファインバブル活用研究セミナー

～ファインバブル技術を活用した地方創生～

K-RIP 及び九州経済産業局では、私たちの生活に大きなイノベーションを与える可能性のあるファインバブルの九州・沖縄地域での活用事例を創出することを目的に、「九州・沖縄ファインバブル活用研究セミナー」を福岡市で開催しました。

農業、水産業、洗浄分野における実際のユーザー企業の皆様から、ファインバブルの活用事例を紹介して頂きました。

【開催日時】平成 29 年 2 月 21 日(火)14:30～17:00

【会 場】カンファレンス ASC 1 階会議室

【参加者】91 名



講演会風景

◆「ファインバブルの基礎とファインバブル産業会 (FBIA) の紹介」

(一社) ファインバブル産業会 (FBIA) 副会長 角田 直行 氏

◆プレゼン 1 : 「ファインバブル活用事例 ～農業分野での活用～(いちごの成長促進)」

講演者 : 株式会社フェリーチェ 代表取締役 南出 卓哉 氏

◆プレゼン 2 : 「ファインバブル活用事例 ～水産分野での活用～(魚の鮮度保持)」

講演者 : 奄美漁業協同組合 組合員 中江 康仁 氏

◆プレゼン 3 : 「ファインバブル活用事例 ～洗浄分野等での活用～」

講演者 : 西日本高速道路総合サービス沖縄(株) 保全事業部事業開発課 城間 勝治 氏

◆ショートプレゼン : ファインバブル装置メーカー 2 社

株式会社ワイビーエム ファインバブル事業開発部 課長 大坪 修平 氏

株式会社リーガレック 開発事業部開発営業課 課長代理 高田 博人 氏

【ファインバブル産業会の紹介、及びファインバブル活用事例の紹介】



(一社)ファインバブル産業会
角田 氏



(株)フェリーチェ
南出 氏



奄美漁業協同組合
中江 氏



西日本高速道路総合サービス沖縄
城間 氏

【ショートプレゼン: 2 社】

◆ ファインバブル発生装置の展示/商談



(株)ワイビーエム 大坪 氏



(株)リーガレック 高田 氏



VI. その他の事業（共催等）

1. 長崎海洋再生可能エネルギー・シンポジウム

～洋上風力発電の拡大と電力系統の現状～

九州経済産業局、及びNPO長崎海洋産業クラスター形成推進協議会、一般財団法人九州産業技術センター、九州環境エネルギー産業推進機構（K-RIP）は、海洋再生可能エネルギーを中心として、再生可能エネルギーの普及促進と関連産業の将来展望を切り開く道筋について共に学び考える場を提供するために、海洋再生可能エネルギー実証フィールドとして3海域の指定を受けている長崎県の長崎市会場にてシンポジウムを開催しました。

今回のシンポジウム全体のプレゼンターは、昨年10月に、風力発電分野で日本人として初めてIEC（国際電気標準会議）1906賞を受賞された鈴木章弘氏でした。

【開催日時】平成29年2月7日(火)14:00～17:20

【開催場所】市民生活プラザ：メルカつきまち5階ホール(長崎市)

【講演】

〔テーマ〕国内外の風力発電の動向について

〔発表者〕（一社）日本風力発電協会（JWPA）国際・広報部長 上田悦紀氏

〔テーマ〕電力系統は海を目指す～洋上風力発電所と次世代送電網～

〔発表者〕京都大学大学院 経済学研究科 再生可能エネルギー経済学講座 特任教授 安田陽氏



【フォーラム：パネル・ディスカッション】

〔テーマ〕海洋再生可能エネルギー関連分野における産業の将来像

〔司会〕鈴木章弘氏 再生可能エネルギー試験計測(株)社長

〔パネラー〕上田悦紀氏（一社）日本風力発電協会（JWPA）国際・広報部長

安田陽氏 京都大学大学院経済学研究科 特任教授

木下健氏 長崎総合科学大学 学長

経塚雄策氏 長崎大学 教授

2. セルロースナノファイバー活用セミナーin九州 ～竹を原料としたCNFの可能性～

九州経済産業局、薩摩川内市、薩摩川内市竹バイオマス産業都市協議会、一般財団法人九州産業技術センター、九州環境エネルギー産業推進機構（K-RIP）が共催で活用セミナーを開催しました。

軽量、高強度、低線熱膨張といった優れた特性を示す「セルロースナノファイバー（以下、CNF）」は、次世代の革新的素材として注目されており、現在、研究開発・製造技術開発のステージから社会実装化に向けて、様々な取組がなされています。本セミナーでは、CNFの利活用促進を目的として、CNFに関する将来展望、研究成果、活用企業の事例等について発表いたしました。

【開催日時】平成29年2月23日(木)13:30～17:30

【開催場所】ハイアットリージェンシー福岡 ボールルーム

【参加者総数】約280名

●基調講演「CNFの研究開発について～ACC-CNFを中心に～」



(国法)九州大学大学院 農学研究院 教授 近藤 哲男 氏

●講演 1 「国のセルロースナノファイバーの取組」

経済産業省 製造産業局 素材産業課 革新素材室 室長 井上 悟志 氏

●講演 2 「ACC法を用いたCNFの工業生産 ～竹を原料としたCNFの取組について～」

中越パルプ工業株式会社 開発本部 技師 坪井 国雄 氏

●活用事例発表

(1) 「セルロースナノファイバーによるPP複合材料の開発」

出光ライオンコンポジット(株) 複合材料研究所 上席主任研究員 野寺 明夫 氏

(2) 「セルロースナノファイバー/カーボンナノチューブ 複合材の開発」

日本資材株式会社 R&Dセンター グループリーダー 井上 均 氏

(3) 「CNFを活用したスピーカー用振動板の開発と商品化」

オンキョー株式会社 B2B本部 技術部 雲 浩靖 氏

3. 平成28年度K-RIPプロジェクト完了報告会

【開催日時】平成29年3月14日(火)13:00～15:10

【開催場所】一財)九州産業技術センター 3階会議室

時間	次第	内容等
1. 開会挨拶		
13:00～13:05	挨拶	松尾 康志 氏(楽しい(株))(ビジネス創出部会 部会長)
13:05～13:10	報告	事務局より報告事項
2. 平成28年度K-RIPプロジェクト採択企業の完了報告		
13:10～13:30	プレゼン1	日建エンジニアリング(株) 代表取締役 靱井 隆志 氏 再エネ分野に向けた、高精度曲げ加工技術の成型限界解析・技術実証事業
13:30～13:50	プレゼン2	(株)ヤサキ 代表取締役社長 八崎 秀則 氏 微生物資材「菌の黒汁」を活用した低環境負荷、高効率牧畜システムの実証
13:50～14:10	プレゼン3	丸和バイオケミカル株式会社 開発本部 清水 悟 氏 新系統バミューダグラスを利用した畦畔及び緑地管理技術とビジネスモデルの構築
14:10～14:30	プレゼン4	(株)ジェー・フィルズ 佐賀営業所長 青木 正成 氏 油脂排水回収一時水槽における酵素処理の実用効果の実証
14:30～14:50	プレゼン5	エネフォレスト(株) 吉良 明和 氏 農業用水路における水量確認システムの開発
3. 意見交換会		
14:55～15:10	全員	意見交換、松尾部会長による総評

ビジネス創出部会長 松尾氏



日建エンジニアリング(株) 靱井氏



(株)ヤサキ 八崎氏



丸和バイオケミカル(株) 清水氏



(株)ジェー・フィルズ 青木氏



エネフォレスト(株) 吉良氏



VII. H28 年度下期 SONEQ 事業報告

1. 平成 28 年度 第 1 回会員向け講演会

【開催日時】2016 年 12 月 2 日（金）13:00～16:30

【開催場所】電気ビル共創館カンファレンス（福岡市中央区渡辺通）

【講演】

（株）NTT ファシリテーズ 中尾氏 オムロンフィールドエンジニアリング（株）今井氏 柳井電機工業（株）山本氏 （株）日立産業制御ソリューションズ 野中氏



2. SONEQ 研究会

SONEQ では、今年度 2 つの研究会を実施しています。①アグリトピア研究会では、再エネと農業を組み合わせたコミュニティ形成を検討しており、次年度の実証実験に向けて協議を重ねています。

②太陽光発電パネル(PV)リサイクル回収ビジネスモデル構築研究会では、廃棄 PV パネルを収集するための回収ボックスを九州内に 14 か所設置し、回収モデルの実証実験を行っています。今後も K-RIP 会員と協力し回収システムの構築を検討します。

①アグリトピア研究会

【幹事会社】グリーンリバーホールディングス株式会社

【概要】再エネと農業を中心とした次世代農業コミュニティ形成

■第 1 回研究会

【開催日時】2016 年 10 月 27 日（木）13:30～15:30 【会場】九州経済調査協会 会議室

■第 2 回研究会

【開催日時】2016 年 12 月 9 日（金）13:30～15:30 【会場】九州経済調査協会 会議室

■第 3 回研究会

【開催日時】2017 年 3 月 13 日（月）13:30～15:30 【会場】電気ビル共創館カンファレンス

②太陽光発電パネル(PV)リサイクル回収ビジネスモデル構築研究会

【幹事会社】株式会社新菱

【概要】PV リサイクルプロジェクトの検討

■第 1 回研究会

【開催日時】2016 年 9 月 16 日（金）14:00～16:00 【会場】九州経済調査協会 会議室

■第 2 回研究会

【開催日時】2016 年 12 月 7 日（水）14:00～16:00 【会場】九州経済調査協会 会議室

■第 3 回研究会

【開催日時】2017 年 3 月 28 日（火）14:00～16:00 【会場】九州経済調査協会 会議室



九州環境エネルギー産業推進機構(K-RIP)

812-0013 福岡市博多区博多駅東 2 丁目 13-24

(一財)九州産業技術センター内 K-RIP 事務局

TEL: 092-474-0042 FAX: 092-472-6609

Web: <http://www.k-rip.gr.jp> E-mail: info@k-rip.gr.jp